

教育・研究・その他活動

週1回の消化管カンファレンスや肝胆膵カンファレンスを行い、患者情報の共有・把握に努め、迅速な治療が実施されるよう各診療科スタッフが心がけています。また、定期的に消化器病センターミーティングを行い、各種消化器病疾患の情報交換や役割分担を再確認する作業を行っています。

今後の課題と展望

消化器病センターの各科・各関連スタッフは、お互いに綿密な連絡・連携体制をとり、病状に応じた治療法を適切に判断し、最適な治療を提供して行くことを第一に考えています。



医療チーム

消化器外科

- 消化器外科部長 田中 聡也
- 館長 佐藤 清治
- 消化器病センター長 北原 賢二
- 肝胆膵外科部長 三好 篤
- 医長 池田 貯
- 医長 古賀 靖大
- 医長 古賀 浩木
- 医長 三宅 修輔
- 医長 江川 紀幸
- 医長 北川 浩
- 医長 梶原 脩平
- 医員 西田 泰治
- 医員 馬場 楓

肝臓・胆のう・膵臓外科

- 肝胆膵外科部長 三好 篤
- 消化器病センター長 北原 賢二
- 医長 古賀 浩木
- 医長 江川 紀幸
- 医長 西田 泰治

肝臓・胆のう・膵臓内科

- 肝胆膵内科部長 大座 紀子
- 医長 中下 俊哉
- 医長 古賀 風太
- 医員 野下 祥太郎
- 医員 藤本 光



消化器内科

- 消化器内科部長 緒方 伸一
- 医長 冨永 直之
- 医長 樋高 秀憲
- 医員 中山 賢一郎
- 医員 中西 朗
- 医員 朝長 道人

腫瘍内科 (臨床腫瘍科)

- 腫瘍内科部長 柏田 知美

- ・手術部
- ・集中治療室
- ・救急救命センター
- ・内視鏡検査室
- ・病理部
- ・検査部
- ・看護部
- ・緩和ケアセンター
- ・薬剤部
- ・栄養管理部
- ・リハビリテーションセンター
- ・入退院支援センター
- ・地域医療連携センター

消化器病センター

Gastroenterological Center



2022.09



消化器病センター

Gastroenterological Center



消化器病センター長
北原 賢二

近年、臨床医学の進歩と健康に対する意識や価値観の多様化から、医療機関には高水準で良質な医療の提供が求められています。そのような中で、消化器病疾患に関しても、世間のニーズに十分応えられるように、令和3年(2021年)7月1日に消化器病センターが設立され、初代センター長に北原賢二が就任しました。消化器病センターは消化器疾患全般(上部消化管、下部消化管、肝胆膵)にわたり、消化器内科外科、肝胆膵内科外科、腫瘍内科(臨床腫瘍科)が一体となり診断・診療を行っています。消化器病診療に関する全スタッフが、これまで以上に綿密に連携し、強固な連帯感を持って診療していただくことを最大の目標としています。

今後は、消化器病センターを中心として高い専門性と個々の症例に最適な医療の提供をすすめるとともに、地域医療を担う総合病院の特徴を生かし、合併症を持つ患者さんやご高齢の方に対しても安心して専門的な治療を受けていただけるようにチーム医療を推進してまいります。

消化器病センターにおける各部門との連携

消化器内科/消化器外科/腫瘍内科/肝胆膵内科/肝胆膵外科
(臨床腫瘍科)

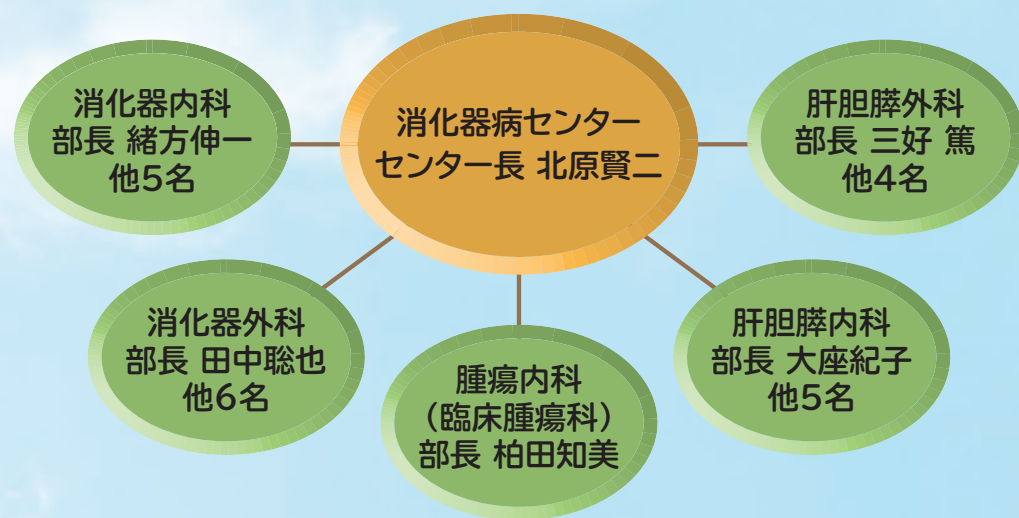
患者さん

消化器病
センター

手術部/内視鏡検査室/救急救命センター/集中治療室/
病理部/検査部/看護部/薬剤部/入退院支援センター/
緩和ケアセンター/リハビリテーションセンター/
地域医療連携センター/栄養管理部

スタッフ

医師並びに看護師・薬剤師・放射線技師・栄養管理士・理学療法士・事務職員・医療秘書などにより構成されています。



●関連部署

7階西東病棟・消化器/肝胆膵外来・外来化学療法室・緩和ケア科・内視鏡室・手術部・放射線部・薬剤部・入退院支援センター・地域医療連携センター・栄養管理部・リハビリテーションセンター など



腫瘍内科(臨床腫瘍科)

Oncology

腫瘍内科(臨床腫瘍科)では消化管癌を中心に、患者さんに寄り添った「あきらめない」化学療法を、最新の知見も交えて行っています。また、最近、保険適応となり年々増加しているゲノム検査(ゲノムプロファイリング)に基づいたテーラーメイド医療にも積極的に取り組んでいます。



診療内容

消化器外科

Gastroenterological Surgery

消化器外科では消化管癌(食道癌、胃癌、大腸癌)に対してQOLを重視した腹腔鏡下手術、ロボット支援手術を積極的に導入し、癌の根治性と同時に機能温存も重視した質の高い外科治療を行っています。また、腸閉塞・虫垂炎・憩室炎などの急性良性(炎症性)疾患に対する治療も消化器内科と協力しつつ行っています。



肝臓・胆のう・膵臓外科

Hepatobiliary and Pancreas Surgery

肝胆膵外科では高難度手術となることが多い肝癌・胆道癌・膵癌に対して根治性を重視した積極的な治療を行っています。また、肝癌・膵癌に対しては適応を十分に見極め腹腔鏡下手術も数多くこなしており、肝癌に対してはロボット支援手術も開始しています。また、急性胆嚢炎・胆管炎・肝膿瘍などの急性炎症疾患にも肝胆膵内科と協力しつつ適切な治療を行っています。



消化器内科

Gastroenterology

消化器内科では早期食道癌、胃癌、大腸癌の内視鏡診断・治療を最新鋭の機種を揃えて行っており、早期消化管癌に対するESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)の件数は県内でもトップクラスの実績となっています。また、良性の炎症性腸疾患の治療にも積極的に取り組んでおり、GIST(消化管間葉系腫瘍)に対するLECS(腹腔鏡・内視鏡合同手術)なども消化器外科との共同で行い、低侵襲なより良い治療を提供しています。



肝臓・胆のう・膵臓内科

Hepatobiliary and Pancreatology

肝胆膵内科では、肝炎・肝硬変・胆石症・膵炎などの良性肝胆膵疾患に対する内科的治療を積極的に行っています。また、肝胆膵癌に対しても患者さんのQOLを十分考慮した化学療法(集学的治療)を行っており、腫瘍内科と同様にゲノム検査に基づいたテーラーメイド医療にも積極的に取り組んでいます。

